

本日は、定例記者会見を開催いたしましたところ、

皆様にはご出席いただきまして、ありがとうございます。

それでは、令和8年度6月補正予算案につきまして、

説明いたします。

令和8年度の当初予算は、

年度当初に市長・市議会議員選挙が行われたことから、

義務的経費及び継続事業に係る経費等を

中心とした「骨格予算」として編成しているため、

この度の6月補正予算案は、

骨格予算に新たな政策的事業を盛り込んだ

「肉付予算」として編成いたしました。

令和8年度6月補正予算（案）の概要 1ページをご覧ください。

一般会計については、

補正額 5億9,825万8千円を追加し、

補正後の予算総額は 162億6,825万8千円であります。

これは、対前年度同期との比較で、14.2%の減であります。

一般会計、特別会計等を合わせました今回の補正額は、

5億9,908万4千円の追加で、

補正後の総額は、287億5,084万3千円であります。

では、一般会計の概要について、説明いたします。

2ページをご覧ください。

まず、民生費です。

「健康福祉センター空調機器更新事業費」 8,107万円は、

老朽化した健康福祉センターの空調機器の更新を行うものであります。

次に、農林水産業費です。

「農業用施設改良事業費」 4 1 0 万円は、

耕地の保全と農業生産力の向上を図るため、水路・ため池等、

農業用施設の改良等を行うものであります。

次に、商工費です。

「企業立地促進奨励金」 4, 0 4 1 万円は、

市内の土地を取得し、製造工場等を建設した企業に対し、

企業立地促進奨励金を交付するものであります。

「花火大会実行委員会補助金」 1, 5 0 0 万円は、

花火大会実行委員会に補助金を交付するものであります。

次に、土木費です。

「道路維持補修事業費」 1, 1 5 4 万 5 千円は、

道路施設の管理・維持補修業務を行うものであります。

「道路新設改良事業費」 3, 7 1 1 万 5 千円は、
市内地域間を結び市民生活を支える道路の
整備充実を図るものであります。

「河川維持補修事業費」 1, 7 7 9 万 3 千円は、
河川及び排水施設の管理・維持補修業務を行うものであります。

「金光駅西公園整備事業費」 4, 3 1 7 万 1 千円は、
金光駅西公園の整備のため、用地取得等を行うものであります。

次に、農林水産業費・土木費です。

「災害対策事業費」 3 億 3, 1 7 0 万円は、
災害に強いまちづくりを推進していくため、
農林・公共施設等の災害対策事業を行うものであります。

以上、一般会計の概要について説明いたしました。

次に、特別会計の概要について、説明いたします。

3 ページをご覧ください。

今回の補正予算では、

「国民健康保険特別会計」、「後期高齢者医療特別会計」、

「介護保険特別会計」の3つの特別会計で予算計上しております。

国民健康保険特別会計と後期高齢者医療特別会計につきましては、

電算システム改修委託料の増額をそれぞれ予算計上しております。

介護保険特別会計につきましては、

保険事業勘定に連合会負担金の増額を予算計上しております。

以上が、6月補正予算案の概要であります。

それでは6月補正予算（案）の主な事業の詳細について説明いたします。

浅口市長定例記者会見配布資料の1ページをご覧ください。

生成AI導入事業について、であります。

日本全体で労働人口が減少しており、

それに伴う人手不足や職員数の減少が深刻化しております。

本市においても、この影響を避けることはできません。

今後限られた職員数でも質の高い行政サービスを維持するためには、

AIの積極的な活用が不可欠となっております。

そのため、本市では「人でないとできない業務」と

「AIで対応できる業務」を区分し、

AIが得意とする分野については、

AIへの置き換えを進めてまいります。

AIをこれまでの単なるデジタルツールとしてではなく、

職員の一人として位置づけることで、

業務の効率化と行政サービスの維持・向上に努めてまいります。

本事業において、現在導入を進めている AI ツールは次の 2 種類です。

まず 1 つ目は、「パブテク AI」です。

この AI は、音声データの文字起こしや要約、
行政文書に特化した文書生成を得意としており、
非常に幅広い業務での活用が期待されております。

2 つ目は、「Google Workspace」です。

Google Workspace には、ジェミニをはじめとする
NotebookLM などの最先端の AI 技術が組み込まれています。

この AI 技術の業務への活用方法について、
今後検証を進めてまいりたいと考えております。

特に NotebookLM は、資料作成や説明動画の制作に優れているため、
本市の行政サービスの質を向上させることに寄与すると期待しております。

これらの取り組みを通じ、本市の業務効率化を図りながら、
市民へのサービス向上を目指してまいります。

2 ページをご覧ください。

岡山天文博物館PR事業について、であります。

博物館のメインターゲット層である親子連れや、

新規の来館者開拓に向けて

20周年記念イベントを開催いたします。

内容については、秋に開催予定の「あさくち天文台フェスタ」、

「冬のこどもまつり」を中心に、

親子で楽しめる体験型ワークショップを新たに開催いたします。

また、近年問い合わせなどが増えている

サイクリング愛好者いわゆるサイクリストを対象として、

秋の行楽シーズンに向けて、

サイクリストの方々が来館しやすくするために環境整備を行います。

詳細につきましては、今後決まり次第、順次ご案内いたします。

次に、主な事業の進捗状況などについて説明いたします。

3 ページをご覧ください。

浅口市の恒例行事であります「あさくち花火大会」について、であります。

今年度の開催日が第1回実行委員会において、

11月7日（土）に決定されました。

あわせて、11月7日（土）が荒天で実施できない場合は中止とし、

順延しないことも決定されておりますので、

ご注意いただきたいと思います。

来場する皆様に、より良い環境で花火大会を

楽しんでもらいたいという理由から、

昨年度は秋の開催に変更いたしました。

来場者や関係者からは、

夏よりも過ごしやすいと概ね好評であったことから、

今年度も秋の開催を実行委員会で決定したものであります。

なお、事業内容などについては、市制施行20周年記念事業として

例年よりも約2,000発多い、

約5,000発の花火の打ち上げをはじめ、
地域物産展やステージイベントなどで花火大会を
盛り上げていきたいと考えております。

詳細につきましては、今後の実行委員会において、
協議、決定してまいります。

市制施行20周年の記念すべき年を花火で祝し、
皆様とともに更なる市の発展を祈念したいと考えております。

4ページをご覧ください。

2026年度夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会について、であります。

この事業は、市への愛着と市民の一体感の醸成を図ることを目的に、
市制施行20周年記念事業として、
株式会社かんぽ生命保険などが主催する
夏期巡回ラジオ体操の開催地として要望し

8月20日（木）午前6時から開催することが決定いたしました。

幼児・小学生から老人まで性別や年齢に関わらず、

誰もが参加できるラジオ体操を行うことで、

市民相互のより一層の連帯感が生まれるものと思っております。

市民の皆様の健康増進や大人と子どもの交流の場、

親子のふれあいの場となることを期待しております。

5 ページをご覧ください。

青少年海外派遣事業について、であります。

市内在住の中学2年生、3年生及び

義務教育学校8年生、9年生を対象として、

海外の文化、生活習慣などを体験することで、

国際理解や国際感覚を養い、

国際化時代に対応できる人材の育成を図るため、

青少年海外派遣事業を実施いたします。

この事業では、8月4日から10日までの7日間、

10名をサイパンへ派遣する予定しております。

現地では、ホームステイでの異文化体験のほか、
教育交流や平和学習などを盛り込む予定で、
渡航費などの費用の一部を市が補助いたします。

昨年度に引き続き、2年連続のサイパンへの派遣となります。
子どもたちが異文化に触れ、新しい価値観や考え方を知り、
グローバルな視野を育てる機会になるものと期待しております。

6 ページをご覧ください。

イングリッシュ国内留学事業について、であります。

子どもたちの英語への興味・関心の向上を目的に、
夏休み期間中に市内公立中学校生徒を対象に
イングリッシュ国内留学を実施いたします。

8月3日（月）から7日（金）の5日間、9時から12時の時間で、
場所は寄島学園にて実施いたします。

具体的な内容といたしましては、市内のALTを講師として、

英語を使ったゲームやグループ活動、

プレゼンテーション発表を予定しております。

英語や異文化に触れる機会を通して、

子どもの英語への興味・関心の向上に繋がるものと期待しております。

8 ページをご覧ください。

浅口市ドローンフェス開催について、であります。

市では、ドローンに触れ、

ドローンに興味を持って積極的に関わる人材の育成や、

子どもたちが先端技術に触れる機会の創出を目的として、

本年度も、ジャパンドローンリーグ 2026/ROUND5 の開催に合わせて、

「浅口市ドローンフェス」を開催いたします。

日にちは、8月22日（土）、23日（日）の予定で、

会場は、浅口市三ツ山スポーツ公園です。

ジャパンドローンリーグは、プロのパイロットが集う、

レベルの高い大会ですが、ドローンレースは性別や

年齢に関わらず楽しむことができる競技です。

最新技術を目のあたりにできるだけでなく、

市民の皆様の生涯学習の推進や大人と子どもの交流の場や

親子のふれあいの場へとつながることを期待しております。

また、23日（日）に浅口マルシェも開催いたします。

市内外の店舗が集まって、グルメや雑貨などの販売をいたします。

皆様、お誘い合わせの上、ぜひ、お越しください。

9ページをご覧ください。

市職員ドローン民間資格取得事業について、であります。

市では、ドローン民間資格 DIA 認定無人航空機操縦士ライセンスを

市職員2名が取得する事業を実施いたします。

ドローンの基本的な操作方法、飛行記録など、

ドローンを安全に操縦するために必要な知識と技術を学び、

資格を取得することで、

災害発生時の現場確認、立ち入りが困難な場所を

ドローンで調査することができ、

広報などで活用するイベントの記録写真、映像を

撮影することもできます。

資格取得により、職員が安全・法令遵守のもとで

ドローンを運用できる体制を確立いたします。

私からは以上です。